



# Mysterious Heart

THE IDOLM@STER Shijou Takara  
unofficial fanbook #08  
presented by S-I

**R18**  
Adult  
Only

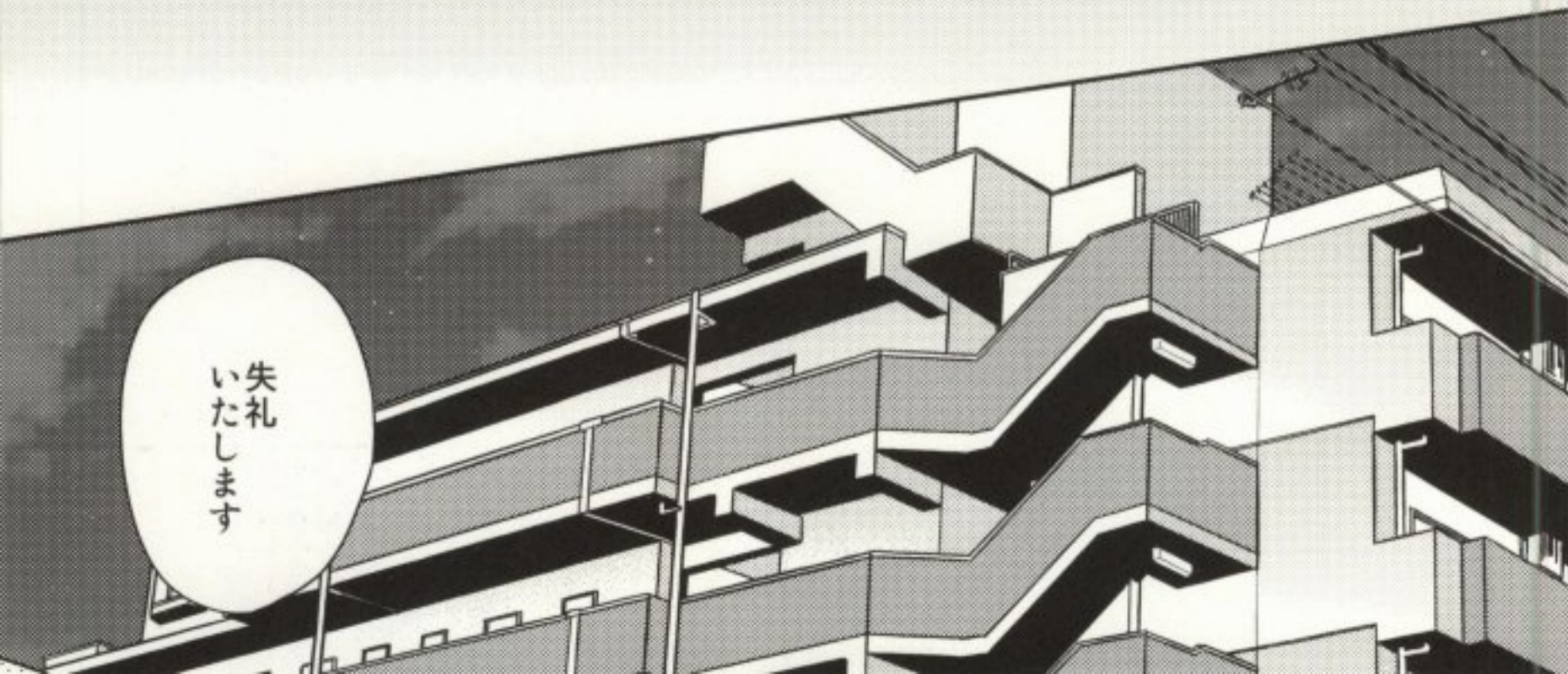




# Mysterious Heart2



失礼  
いたします







あーごめん

そりやまーな  
これでも  
仕事熱心なわけよ

資料や雑誌が  
すこいですね…

人来たの  
久しぶりで…  
すいかも…



なんだよ  
さっさと  
帰れ



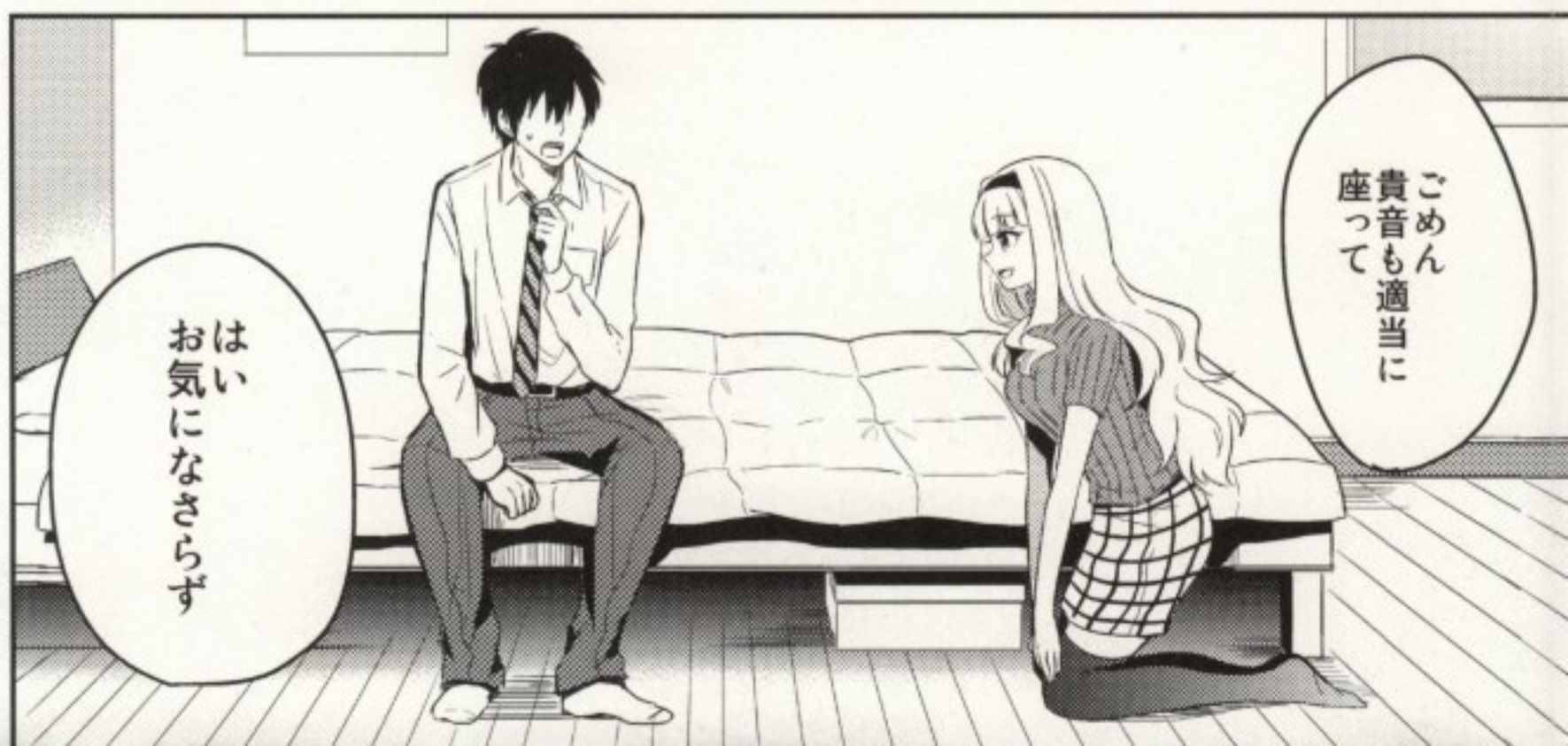
あつ

いくら貴音でも  
これはダメだよ！

……



これは…



ごめん  
貴音も適当に  
座って

はい  
お気になさらず





あ  
やばいな  
横になったら  
また眠気が...

ふふ寝ても  
構いませんよ

やー...そんな  
貴音がせっかく  
来てるのに...

.....  
アイドルのこと  
大事にしてる  
のですね



ん...?

そりやーな

我が子のように  
かわいがってるよ...

私も...

私も

あなた様に  
そうして  
もらいたかった...





やべー  
寝てた…？

9:55

ん…

今は…  
1時か



わっ!!

たっ貴音!?



酔ってたとはいえ  
家に誘うとか  
どうかしてる  
だろ俺…!!

しかも放置して  
寝るとか最低…!!



…  
寝てる…

あーそっか  
貴音も一緒に  
来たんだっけ



今からなら  
タクシーで帰れるけど……

おーい  
貴音ー

つーか睫毛長っ

色づいてっ……

こうして見ると  
本人形みたい  
だよな

こんな綺麗な指で……ロで……

いつも俺のことを……

……

私に一切  
触れては  
いけません



えっ

ジュンジュンジュン...

.....  
あなた様に...  
迷惑をかけたく  
ないのです

他の事務所の  
アイドルと  
関係を持った

などという  
罪悪感を  
あなた様に感じて  
ほしくないのです

ですから...

これからすることは  
私が一方的に  
したことです  
あなた様はお気に  
なさらなくて下さい...

カチャ  
カチャ

ズッ...



その条件つきで

俺たちは週に一度  
会うようになった

一緒にマズイから  
15分後に行くよ

もちろん  
見つからないように  
細心の注意を  
払ったし

現場で会っても  
何食わぬ顔で  
接した

それまでは  
一緒にメシを食べたり  
仕事の話をする  
ような仲だった

貴音は第一印象とは  
全くかけ離れた人で

見た目と中身の  
差が激しく  
驚くほど  
世間知らずだった

そんな彼女にも  
惹かれるのだった  
時間の問題だった



迷惑を  
かけたく  
ないのです

貴音はそう言って  
くれたけど  
俺は……

目の前に貴音がいるのに  
黙って見てるだけでいいのか？  
そんなこと俺にできるのか？

なあ貴音

起きてよ

起きないと  
俺……

私に触れては  
いけません

そんなの……

もう  
無理だろ……！







んっ…

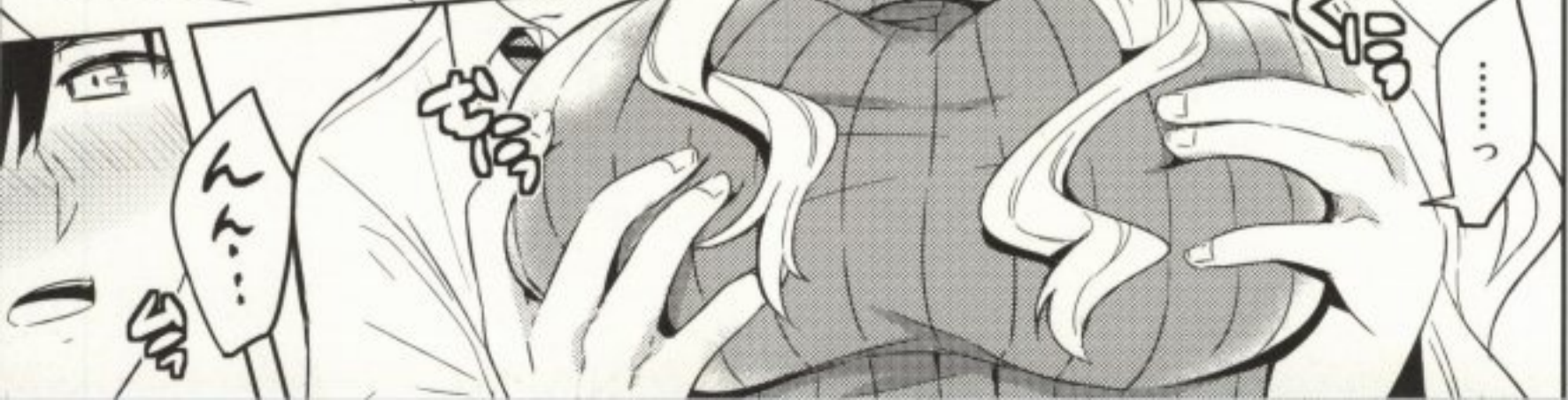


あ…

はっ…

貴音…

すっご…  
やわらかい…



ん…

…





俺も…



俺も今まで  
貴音が俺に  
してくれたこと  
したい…



貴音…  
気持ちいい？













そこは何？



あなた様っ  
そこは…っ！

はっ…



言わないで  
ください…っ

貴音すっげー  
濡れてる  
やばい

ひあっ…！



あ…っ

だっためっ

いけませんっ…

声が…

〃〃〃〃







そのお尻ないうっ...

言われ...たら...

あなた様に...  
触れられる...と...

好きに...なって  
しまいます...

私っも...  
だめですっ...

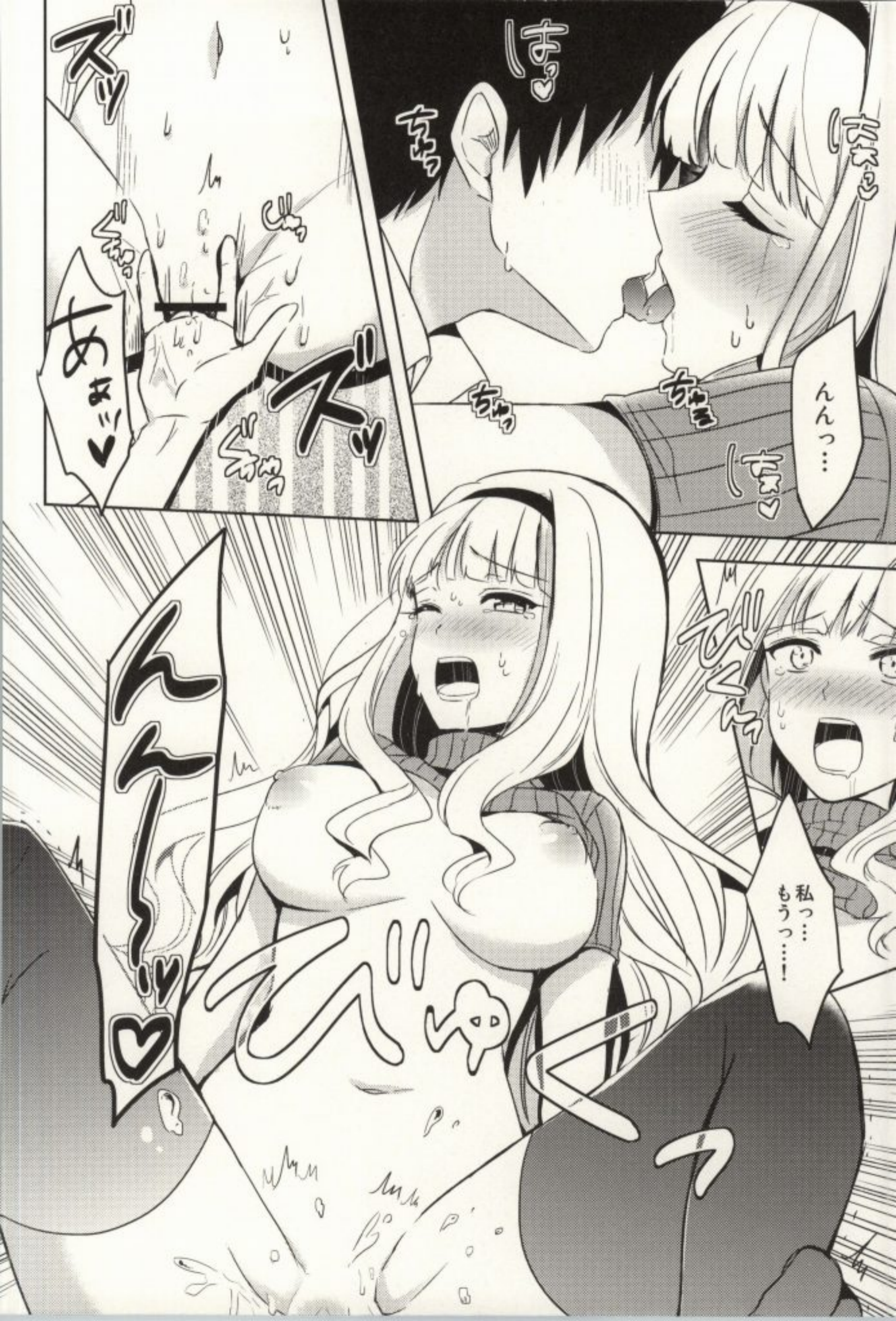
これっ...  
以上はっ...

貴音  
舌出して

あっ...







スッ

すっ

ちゅっ

んんっ

んんっ...

ちゅっ

すっ

ちゅっ

スッ

ちゅっ

すっ

スッ

スッ

スッ

スッ

すっ

私っ...  
もうっ...!

ちゅっ



迷惑をかけたく  
ないなんて  
建前だったので

私があなた様に  
惹かれていくのを  
どうか止めたか  
つただけなので

でも私はあなた様に  
触れられることを  
望んでしまった

もうそれだけで  
既にも手遅れだ  
ったのかもしれない

嫉妬？

まさか嫉妬して  
しまうなど

もしかして雪歩？  
嫉妬したのか？

かわいいとこ  
あるな貴音  
ほほほ

笑うところでは  
ありません

私  
が萩原雪歩であれば  
あのよう  
に思いました

きつと  
それだけ  
では足り  
なかつた  
でしょう



ですから  
私が私で  
よかったです

今は思います

フモリ？  
頭を撫でる  
だけじゃ  
足りない？



もつと触って  
もらえないと

カア...

困ります...

そういう  
可愛いこと  
されると  
俺も困ります

生きてて  
よかったです...





貴音  
明日仕事は？

なーだ

明日は午後から  
レッスンのみ  
ですが…

じゃー  
うち泊まってけば…

Light

…そっか

その  
つもりです

もちろん





Mysterious  
 Heart 2

THE IDOLM@STER Shijou Takane  
unofficial fanbook#08  
presented by S-14

